

①題：「ヤコブの祝福」(36分)

160723

説教者 : 柳 鍾鉉

聖書朗読 : 創世記 47:7~10

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「人類のあけぼの」上巻 227,228 頁

『エサウは契約の祝福を軽べつした。彼は靈的利益よりは、物質的利益を高く評価した。そして、彼は望んでいたものが与えられた。彼が神の民から離されたのは、彼自身が故意にそう選んだのであった。ヤコブは、信仰の遺産を選んだ。彼は、策略と欺きと偽りによってそれを手にしたが、神は、彼の罪が矯正されていくことをお許しになった。ヤコブは、その後あらゆる苦い経験をなめたのであったが、自分の志をひるがえしたり、自分の選択を放棄したりはしなかった。彼は、人間の技巧や策略にたよって、祝福を得ようとすることは、神にさからっていることであることを学んだ。ヤコブは、ヤボクの渡りで、夜、組打ちをしてから後は全く変わった人になった。』

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 10 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 324 番

②題：「わたしたちは落胆しない」(37分)

160729

説教者 : 東海林 正樹

聖書朗読 : コリントの信徒への手紙二 4:16~18

瞑想の言葉 : 讃美歌「われは明日の日を知らず」

『われは明日の日を知らず日々行く 晴れ渡る空に暑き雲いでん まだ来ぬ未来をわれは恐れじ
されど今日の日を主エスと歩まん』

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 112 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 384 番

③題：「聖と俗」(44分)

151031

説教者 : マーク・デュアート (通訳: デュアート朱美)

聖書朗読 : エゼキエル書 44:23

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「希望への光」1885 頁

『現在は自称キリスト者と不敬虔な人たちとの間の区別がほとんどわからない。教会員は世の人々が愛するものを愛し、すぐに彼らといっしょになるので、サタンはこの人たちを一体として結合させ、すべての人を心霊術の味方に引き入れることによって、自分の立ち場を強化しようとして決意している。』

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 10 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 364 番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。